

# 松江市立病院医学雑誌投稿規程

## 1. 論文掲載

- (1) 本誌は原著、総説、症例報告などを掲載し、年一回発行する。
- (2) 本誌はすべての論文 J-STAGE にフリーアクセスが可能 PDF ファイルとして公開する。
- (3) 投稿論文は未発表のものに限る。すでに発表されている場合には、その一部に多少の変更や追加があっても、基本的に同一内容であれば二重投稿とみなし、本誌への投稿は認められない。論文を提出する責任者は共著者全員に論文の内容と当雑誌への投稿についての同意を確認する。
- (4) 原稿は和文、英文いずれでもよい。
- (5) 投稿者は、当院職員および編集委員会の認めるものとする。
- (6) 論文の採否は複数の査読者の査読結果をもとに編集委員会が決定する。
- (7) 本誌に掲載された論文の著作権は松江市立病院に帰属する。
- (8) 臨床研究は厚生労働省の臨床研究に関する指針に準拠する。(厚生労働省ホームページ「研究に関する指針」<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/hokabunya/kenkyujigyou/i-kenkyu/index.html>を参照) また、必要に応じて被験者の同意と倫理委員会による承認を受けたことを記載する。
- (9) 利益相反の有無に関して投稿時に開示する。(内科学会ホームページ「内科系関連学会による医学系研究の利益相反 COI に関する共通指針」[http://www.naika.or.jp/jigyo\\_top/coi/shishin/](http://www.naika.or.jp/jigyo_top/coi/shishin/)を参照)

## 2. 執筆要綱

- (1) 本文は原則としてマイクロソフト社のワードで作成し(フォントは MS 明朝, MS ゴシック, Century などの標準的なものとする)、和文は A4 版に横書きとし、英文はダブルスペースで記載する。文字の大きさは 12 ポイントとする。句読点は、本文・文献・図表すべて「、」と「。」で表記する。略語を使う場合は、原則として要旨・本文ともに初出時に「フルスペル(略号)」で明示する。また、外国語の固有名詞は原語を、薬品などの化学用語は学術名を用いる。
- (2) 表題(タイトルページ) タイトルページには表題、著者名、所属を明記し、key words 3 語以上を記入する。
- (3) 要旨: 和論文は 800 字以内、英論文は 250 words 以内とする。
- (4) 本文
  - ①原著は、「はじめに」、「対象と方法」、「結果」、「考察」、「結語」に分けて記述する。統計処理を行った場合は、その手法を方法のなかに明記する。症例報告は、「はじめに」、「症例」、「考察」「結語」の順に記述する。謝辞がある場合は、本文の最後に記述する。
  - ②引用した文献は右上肩付きで引用順に番号を記載する。図表の挿入箇所は本文中に明記する。  
(例) 木村らの報告によると<sup>2)</sup>、佐藤らの報告<sup>5,7)</sup>と異なり、……
- (5) 図・表・動画
  - ①題名、説明は本文の表記に統一する。説明文を別紙にまとめて記載し、使用した略語や矢印は説明文の中に明記する。
  - ②原則としてオリジナルのものを使用する。引用転載するときには必ず出典を明らかにし、必要に応じて出版元の許諾書類を添付する。
  - ③図は解像度 300dpi 以上で作成し、JPEG 形式(.jpg)またはパワーポイント形式(.pptx)のファイルとして提出する。表は Excel 形式(.xlsx)もしくはパワーポイント形式(.pptx)のファイルとして提出する。
  - ④症例や手技など、本文の図に加えて動画での提示が有用な場合は、J-STAGE で動画(mp4 形式)の公開が可能である。動画の掲載を希望する場合は以下の説明文を論文末尾(文献の前)に添付する。

(例)「電子付録(動画)」動画 S1: 入院時の心エコー図画像(図3), 左室心尖部の壁運動異常が認められた。

#### (6) 文献

- ①雑誌の略号は, 外国雑誌は Index Medicus, 和雑誌は医学中央雑誌の雑誌略名リストに従う。
- ②著者名は3名まで列記し, 4名以上の場合は“他”または“et al.”とする。
- ③記載の順序, 方法は以下の通りとする。

雑誌の場合

著者名: 題名, 雑誌名 発行年(西暦); 巻: 項。

(例) 藤田昌久, 南智仁, 久保田喜久, 他: 盲腸軸捻転症の1例. 日臨外会 2007;68:1123-1125.

(例) Anderson JR, Welch GH, Linden W, et al.: Volvulus of the cecum. World J Surg 1987; 11: 346-348.

単行本の場合

著者名(訳者名): 標題, 編者名, 書名, (巻), (版), 発行元, 発行地, 発行年(西暦), 項

(例) 坪田紀明: イラストレイテッド肺癌手術. 手技の基本とアドバンスト・テクニク 第2版, 医学書院, 東京, 2007, 13-16

(例) Becker AE: Papillary fibroelastoma. Diagnostic Histopathology of Tumors. 2nd ed., Fletcher CDM ed., Churchill Livingstone, London, 2000, 26-28

(例) 多村幸之進, 小柳泰久: 鼠径部ヘルニアの手術手技1. Marcy 法沖永功太編, 鼠径ヘルニアの手術, へるす出版, 東京, 2003, 34-40

(例) Falk JL, Rackow EC, Weil MH: Colloid and Crystalloid fluid resuscitation. In: Shoemaker WC, Ayres SA, Grenvic A, et al eds. Textbook of Critical Care. Philadelphia, Saunders, 1989, 1055-73  
インターネットの場合(インターネットにのみ存在する文献に限る)

題名, at アドレス

(例) NCCN Clinical Practice Guideline in Oncology Breast Cancer v.2. 2007, at [http://www.nccn.org/professionals/physician\\_gls/PD/breast.pdf](http://www.nccn.org/professionals/physician_gls/PD/breast.pdf)

#### (7) 原稿の提出

提出先は編集事務局である診療支援室 図書・医学雑誌担当者。

提出時には投稿チェックシート(別紙)に従い, 投稿規程を確認する。

原稿は随時受け付けるが, 最終締切日は原則として毎年11月末日。

原稿はワード、JPEG ファイル、パワーポイント、エクセル形式などのファイルと A4 版用紙に3部印刷したものを提出し, 編集委員会の査読終了後に改訂したものを再度提出する。

### 3. 校正と別刷

論文の掲載料は無料とする。

初校及び再校は原則として著者校正とし3日以内に提出する。校正について最終的な判断は編集委員会が行う。別刷は希望部数贈呈する。

付 記: 1996年1月制定

2006年12月一部改訂, 2010年8月一部改訂, 2012年3月一部改訂,  
2014年4月一部改訂, 2016年6月一部改訂, 2017年4月一部改訂,  
2017年7月一部改訂, 2018年3月一部改訂, 2018年11月一部改訂,  
2019年12月一部改訂, 2022年3月一部改訂, 2023年3月一部改訂